

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立中央小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	中央区
学 校 名	大阪市立中央小学校
学 校 長 名	宮 辺 渉

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立中央小学校では、第6学年 133名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立中央小学校の結果概要

本校は国語65、算数65と2教科において全国平均正答率を上回る結果となった。

【全国平均正答率との比較】

国語 +4.1ポイント 算数 +8.6ポイント

平均無回答率も全国より下回っており（国語2.7 算数1.1）、粘り強く問題に取り組んでいることが伺える。

児童質問紙において、授業でのICT機器の活用や主体的な調べ学習に取り組んでいる児童の割合が、全国・大阪市に比べ高い傾向にあり、学校での授業やICTを活用した学習を生かしていることがわかる良い結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

領域別で分析した場合において、すべての領域で全国平均よりも高い結果であった。特に「書くこと」「読むこと」に関しては6ポイント以上上回っており、文章を読み取ったり記述したりする力には定着が見られる。問題別調査結果によると、自分の考えを文章でまとめる記述式問題（設問3（2））などでは高い正答率となった。一方で、「話すこと・聞くこと」や、文章の構成や情報同士の関係性を正しく捉えて選択・整理する問題（設問2二など）では正答率がやや低く、根拠を明確にして情報を整理する力に課題がある。

【算数】

領域別で分析した場合において、すべての領域で全国平均よりも高い結果であった。特に「数と計算」「測定」「データの活用」に関しては9ポイント以上上回っており、基本的な計算や図形の性質、時間の計算などの活用問題では非常に高い正答率を維持している。一方で、「変化と関係」領域の正答率は他領域に比べて伸びが小さく、特に単位量あたりの大きさや混み具合を判断して立式する問題（設問2（3））については全国平均を下回る結果となり、割合や単位量の概念理解に課題がある。

全国平均、大阪市平均より顕著に高い割合であった項目は

【探究的・主体的な学び】

- ・「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」
- ・「5年生までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」
- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」

【ICT活用力】

- ・「あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか」
- ・「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか」
- ・「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表スライド）を作成することができますか」

【キャリア・社会貢献意識】

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」

であり、授業の中で自ら課題を見つけて調べ、ICT機器を活用して整理・表現する主体的な探究学習が定着していることがうかがえる。また、授業での成功体験や対話的な学びが、児童の高い自己効力感や社会貢献意識、将来の夢や志（キャリア意識）の高さへとつながっている。

しかし、以下の項目である

【読書習慣、文字メディアへの親しみ】

- ・「新聞をどれくらい読んでいますか」
- ・「学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」

については、全国・大阪市平均を下回る割合であり、日常的な読書習慣の形成や、本・活字などの多様な文字情報に親しむ点に課題がみられる。

今後の取組（アクションプラン）

○「根拠をもった表現力」を育む言語活動の充実（国語・算数）

・各教科の授業において、文章や図表から必要な情報を読み取り、単に答えを導くだけでなく「なぜその解き方・考え方になるのか」の理由や根拠を明確にして、自分の言葉や文章で説明・記述する力を養っていく。

○算数科における「概念理解」の徹底（算数）

・正答率に課題が見られた「変化と関係」領域（特に単位量あたりの大きさや割合）について、具体物や図、ICT機器を活用して視覚的に思考プロセスを可視化し、概念理解の定着を図っていく。

○「ICT活用力・探求力」を生かした授業づくり

・児童のICTスキル（プレゼン作成・情報検索）や主体的に学ぶ意欲を各教科の学習の中に効果的に取り入れ、他者の意見と比べながら自身の考えをまとめる対話的・探究的な活動をさらに充実させていく。

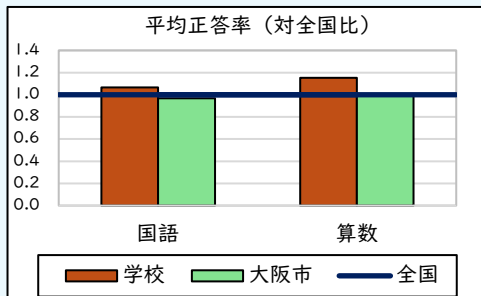
○読書習慣の定着と文字メディアへの親しみの推進

・学校図書館（図書室）、Web上の情報と図書資料を組み合わせた調べ学習などをおして、日常的に本や活字に親しむ環境を整え、読書習慣の定着を図っていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

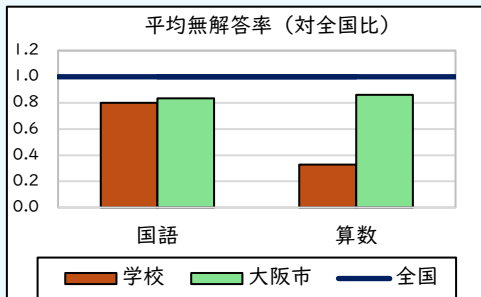
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	65	65
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



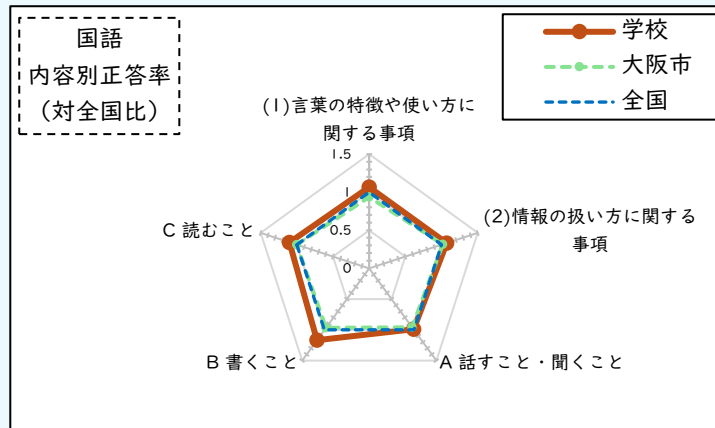
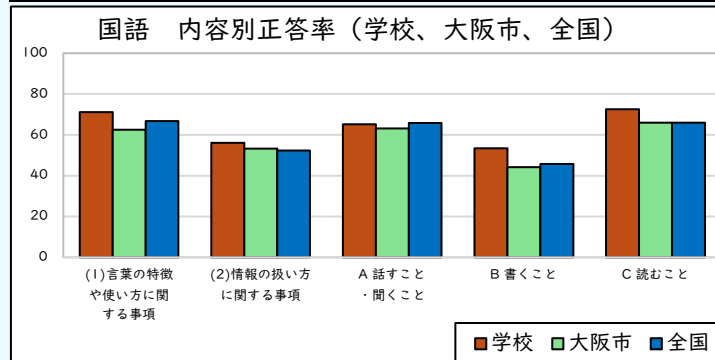
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.7	1.1
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



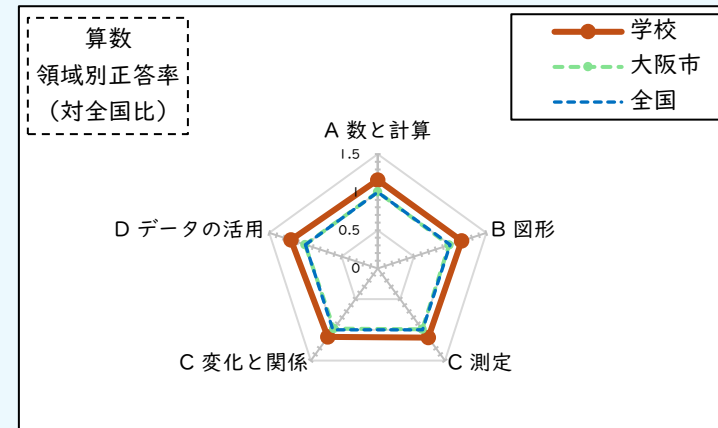
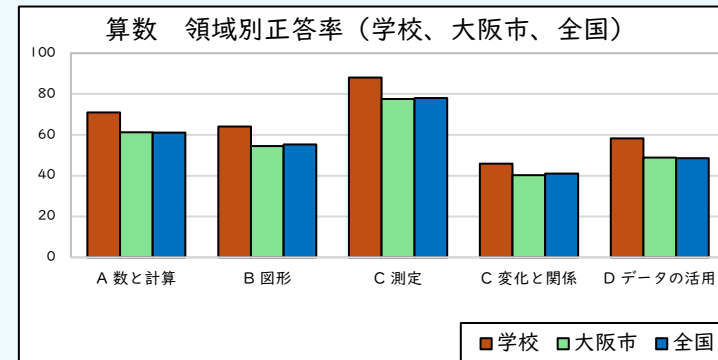
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	71.2	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	56.0	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	65.2	63.1	65.8
B 書くこと	2	53.4	44.2	45.7
C 読むこと	2	72.6	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	70.9	61.2	61.1
B 図形	4	64.1	54.5	55.3
C 測定	1	88.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	45.9	40.3	41.1
D データの活用	4	58.3	48.8	48.6



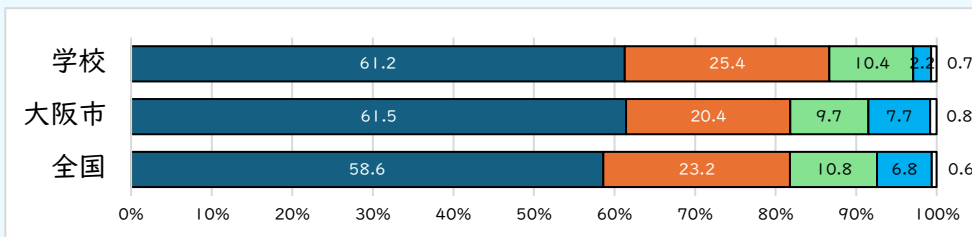
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

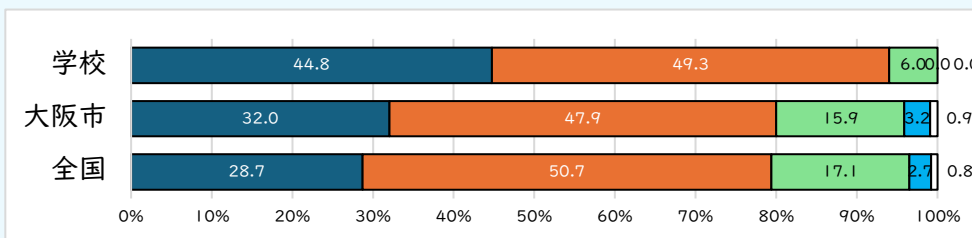
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(10) 将来の夢や目標を持っていますか



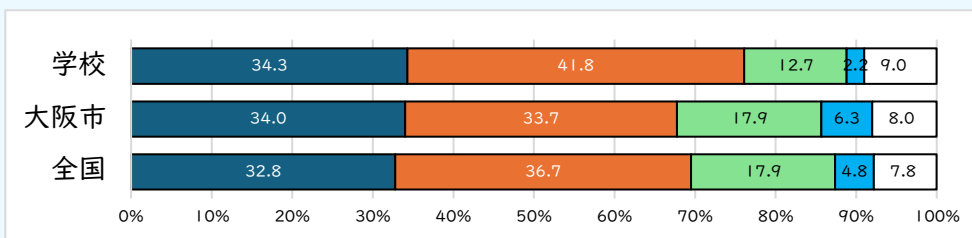
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(22) 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



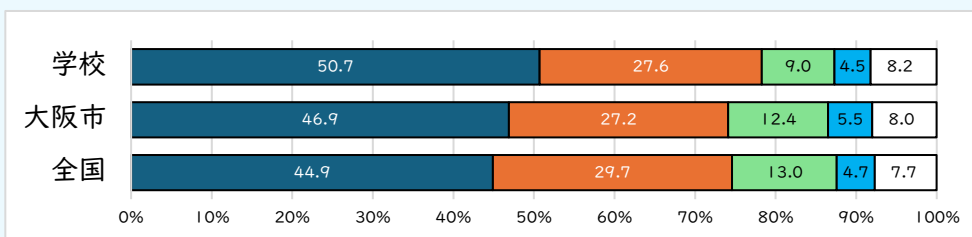
1 できている
2 どちらかといえば、できている
3 どちらかといえば、できていない
4 できていない

(36-3) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか



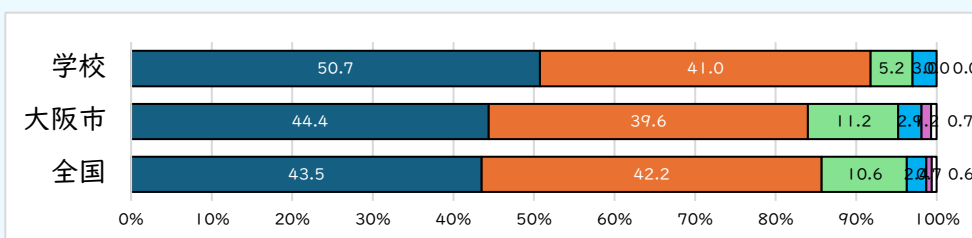
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(36-4) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

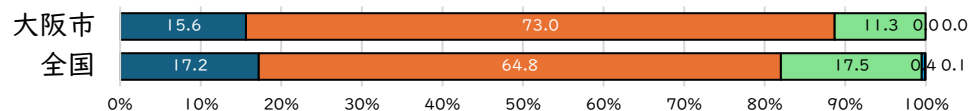
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(10)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

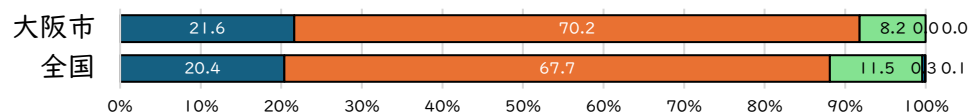


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

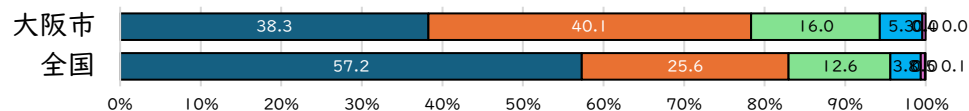


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(60)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校の回答】 2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）

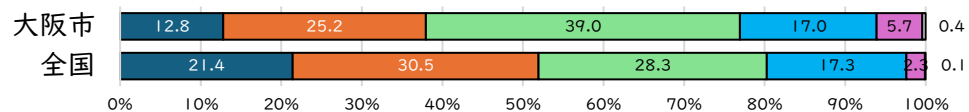


1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満

(62)

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

【学校の回答】 3 週1回以上

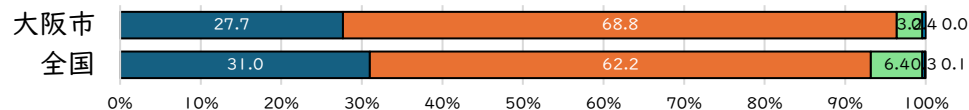


1 ほぼ毎日
2 週3回以上
3 週1回以上
4 月1回以上
5 月1回未満

(29)

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない